

A. 主な動き

1. 内政

閣僚交代

・20日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ズロチェフスキー環境・天然資源相を解任し、国家安全保障・国防会議副書記に任命する大統領令及びスタヴィツキー国家地質・鉱物資源局長を環境・天然資源相に任命する大統領令を発出。

刑事訴追に関する動き

・17日、欧州人権裁判所は、ルツェンコ前内相に関わる事件の審問を終了した旨発表。同日、ルトコフスカ同裁判所担当ウクライナ政府全権委員は、ウクライナ政府は同裁判所が同前内相による提訴を審理するに足りないと判断を下すことを期待している旨発言。

・18日、ラヴィリノヴィチ法務相は、ウクライナの法律では服役中のティモシェンコ前首相が国外で治療を受けることは認められていない旨発言。20日、プシヨンカ検事総長は、同前首相は国外で治療を受ける権利を有していない旨発言。

・18日、国家刑務所管理庁は、ティモシェンコ前首相が19日より開始される「ウクライナ統一エネルギー・システム」社関連の同前首相の公判への出廷を拒否した旨発表。19日、ハルキフ市キエフ地区裁判所は、同社関連の公判を開始、次回公判を28日に実施する旨発表。

・19日、フィリプチュク元環境相の弁護士は、職権乱用の疑いによりキエフ市ソロミヤンスク地区裁判所によって下された同元環境相に対する懲役3年等の5日付有罪判決を不服とし、キエフ市控訴裁判所に控訴を申し立てた旨発表。

・20日、国家刑務所管理庁は、ティモシェンコ前首相の同意の上で同前首相をハルキフ市内のウクライナ国鉄中央病院へ移送した旨発表。22日、同庁は、同前首相が同病院における治療を拒否したため、同前首相をハルキフ市カチャニフスク刑務所へ再び移送した旨発表。同日、「バチキフシナ」党は、本移送は政権による宣伝活動のために実施されたものである旨非難、ドイツ人医師団が発表した治療方針の遵守及び政権から独立した医師による治療を求める旨の声明を発表。

その他

・17日、トゥルチーノフ「バチキフシナ」党第一副党首は、最高会議選挙における野党統一比例代表名簿及び小選挙区候補者名簿は7月の同党大会において最終的に確定する見込みである旨発言。

・19日、ヤヌコーヴィチ大統領は、経済改革評議会の会合に出席、社会保障計画の実現に向けた作業の活性化の必要性につき発言。

2. 経済

マクロ経済

・18日、IMFは、2012年のウクライナのGDP成長率を、2011年9月予測値から1.8ポイント減の3.0%に下方修正する旨報告。17日に発表された「世界経済見通し」によると、2013年は3.5%に回復、IMFは、また、2012年のインフレ率予測を8.5%から7.9%に修正する旨報告。

金融・財政

・18日、アルプゾフ中央銀行総裁は、為替市場の安定のため、外貨準備高を補充する必要がある、そのために本年3月に3億ドルの外貨を購入した旨報告。また、同総裁は、最近3ヶ月間は国内通貨を支えるための市場への介入を行っておらず、為替相場の変動は外貨の需要・供給によってのみ生じた旨報告。

ガス問題

・15日、ヤヌコーヴィチ大統領は、プーチン露首相との電話会談において、ガス問題解決のため交渉を活発化させる旨発言。

その他

・19日、ヤヌコーヴィチ大統領は、3月13日に最高会議で承認された新聞税法に署名。本法律は免税対象となる個人輸入品の上限金額を200ユーロから1,000ユーロに緩和するものであり、2012年5月より発効。

・20日、ポポフ・キエフ市行政庁長官は、革新的な公園の建設プロジェクトであるバイオニック・ヒル(Bionic Hill)に必要な約10億ドルの投資を呼び込む計画である旨発表。同長官は、また、このプロジェクトは優先度が高いものであり、2012年の秋には開始したい旨発言。

3. 外政

ヤヌコーヴィチ大統領のヨルダン訪問

・16日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ヨルダンを訪問し、アブドゥラー国王と会談。同大統領は、ウクライナにとりヨルダンは中東における重要なパートナーであるとし、航空、宇宙、自動車製造、電気、運輸、農業、軍事及び科学技術分野における両国協力関係を強化する必要がある旨発言。アブドゥラー国王は、同大統領の訪問を歓迎、両国の貿易・経済協力委員会の活動を評価。同会談には、グリシチェンコ外相、ポロシェンコ経済発展・貿易相、サラマティン国防相、プリシャジニク農業政策・食料相及びタバチク教育科学・青年スポーツ相等が同席し、関連分野の二国間協定の調印式を実施。

・同日、ヤヌコーヴィチ大統領は、アル・ハサーウネ首相と会談し、二国間協力問題に関し協議。同大統領は、貿易分野、

また同首相は、農業、工業、軍事技術分野における両国関係強化を提案。

・17日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ウクライナ・ヨルダン・ビジネス・フォーラムに出席し、ウクライナへの投資環境の改善を約束。

リトヴィン最高会議議長のアゼルバイジャン訪問

・18日、リトヴィン最高会議議長は、アゼルバイジャンを訪問し、アリエフ大統領との会談において、アゼルバイジャン産液化天然ガスのウクライナへの供給計画の実現に向けた両国協力の必要性を強調。

・19日、リトヴィン議長は、ラシサデ首相と会談し、経済・貿易、エネルギー、農業、観光及び教育・科学分野における両国協力関係に関し協議。

シュワルツェンベルグ・チェコ副首相兼外相の来訪

・20日、シュワルツェンベルグ・チェコ副首相兼外相は、キエフを訪問し、グリシチェンコ外相と会談。グリシチェンコ外相は、欧州基準の環境整備のためにウクライナ国内において実施されている改革に関し説明。シュワルツェンベルグ副首相兼外相は、チェコはウクライナの欧州統合路線を支援する旨表明。両者は、ウクライナ・チェコ二国間関係問題に関し意見交換。

4 . 防衛

グリシチェンコ外相のNATO加盟国及び協力国外相・国防相会合出席

・19日、グリシチェンコ外相は、ブリュッセルを訪問し、NATO加盟国及び協力国外相・国防相会合に出席。ウクライナは2014年末までに治安維持権限を国際治安支援部隊からアフガニスタン政府へ移行するリスボン合意を支持する旨

発言。また、同外相は、ウクライナはアフガニスタンへの資金及び武器を提供する準備があり、またアフガニスタンからの軍隊及び機材撤収のためにAn - 124輸送機を運航させる用意がある旨発言。

その他

・18日、インターファクス・ウクライナ通信は、ウクライナとロシアがロシア製An - 70用D - 27エンジンを合同で生産することに合意した旨報道。

・18日、国防省は、NATOパートナーシップの枠組みにおける第2回目のウクライナ弾薬等廃棄に関わる協定に署名。これにより弾薬76,000トン、軽火器及び携行武器366,000挺、対人地雷300万個を3～4年以内に廃棄。

・19日、ヤヌコーヴィチ大統領は、2012年のウクライナ・NATO協力の年次国家計画を承認。

・20日、エルモラーエフ大統領直轄国家戦略研究所長は、国家安全保障戦略及び軍事ドクトリンはほぼ完成しており数ヶ月以内に大統領により署名される旨発表。

5 . 二国間関係

バローハ非常事態大臣の訪日(4月17日～24日)

・18日、バローハ大臣は、玄葉大臣との間で「原子力発電所における事故へのその後の対応を推進するための協力に関する日本国政府とウクライナ政府との間の協定」に署名。

・19日、バローハ大臣は、野田総理を表敬訪問。野田総理は、昨18日に原発事故対応に関する二国間協定が署名されたことは喜ばしく、今後一層幅広い分野で両国関係を強化したい旨発言。バローハ大臣は、チェルノブイリ原発事故後の日本からの支援に謝意を表明し、ウクライナとしては同協定の下、いかなる協力も惜しまない旨発言。

(了)